

沖縄の米軍基地負担の軽減に対する申入れについて（案）

米軍輸送機MV 2 オスプレイを含む飛行訓練問題など沖縄の米軍基地負担の軽減については、沖縄県及び県民に対して過剰な負担を強いている現状を踏まえ、政府において日本全体を対象として速やかに検討し具体的な提案を行うべきにも拘わらず、現時点においてその段階に至っていない。

関西広域連合として、沖縄の米軍基地負担の軽減は大きな課題と認識しており、国からの熟慮された具体的な提案があった場合には、関係する市町村や住民の理解を前提とし、それぞれの地域の歴史的な経緯を踏まえつつ、真摯に対応していく考えである。

しかし、現時点において、何ら具体的な動きがないことから、次の事項について適切に対応されるよう、政府に対して申し入れる。

記

- 1 沖縄県に米軍基地が過度に集中しており、政府において、その負担軽減に向けた具体策を早急に検討され、提案すること。
- 2 上記の前提として、現在の在日米軍飛行訓練の実態は、低空飛行による被害や夜間の飛行訓練の実施など多くの問題があり、「在日米軍が低空飛行訓練を実施する際には安全性を最大限確保するとともに、低空飛行訓練が住民に与える影響を最小限にすること」を定めた日米地位協定第 16 条に関する日米合同委員会合意事項を遵守すべく、政府において必要な措置をとること。

平成25年 月 日

関西広域連合 連合長 井戸 敏三